

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-375-3001(月潟図書館)

年度	平成28年度		
施設名	新潟市立月潟図書館	所管部・課	中央図書館
施設の設置目的	図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.5.18
歳入	白根に含む	正職員	1	修正日	
歳出	白根に含む	非常勤	1	評価日	H29.5.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標					H28結果
1	市民	多様化する市民ニーズに応えるため、必要な資料・情報を幅広く収集・提供します。	個人への貸出冊数(冊)	26,142	27,494	26,854	27,000	20,995	「図書館の基本サービス」(AV(視聴覚)資料を除く)	・資料収集、保存、提供	空調工事に伴う臨時休館、インターネットの普及、学校図書館の充実、人口減少が主な理由と考え	C:未達成
2	市民	市民や地域の身近な課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実します。	レファレンス(調査相談)件数(件)	121	116	89	100	57	図書館ビジョンの図書館像「課題解決型図書館」	・レファレンスや所蔵調査について掲示物等で周知	空調工事に伴う臨時休館、インターネットの普及や情報媒体の多様化、また学校図書館の充実により、達成できませんでした。	C:未達成
3	市民	特色ある地域づくりに寄与するため、地域に関連する資料を収集し、整理に努めます。	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	1,990	1,912	2,071	2,100	2,153	図書館ビジョンの図書館像「分権型図書館」	・郷土・行政資料の収集・整理	郷土資料の出版および行政資料の発行情報を集め、収集・整理を行いました。	B:達成
4	市民	子どもが読書に親しむ機会の充実を図ります。	事業参加者数(人)	394	425	465	480	608	図書館ビジョンの図書館像「学・社・民融合型図書館」	・おはなしのじかん、春・秋読書週間事業、チャレンジ教室等の開催、赤ちゃんタイムの実施	チラシやポスター、行政防災無線、図書館ホームページ、カウンターでの声かけにより事業のPRを行いました。	B:達成
5	市民	市民参画と協働を推進するため、ボランティアと連携協力し事業を実施します。	ボランティア活動延人数(人)	97	115	133	140	58	図書館ビジョンの図書館像「パートナーシップ型図書館」	・読み聞かせボランティアの養成	目標とする人数には届きませんでした。ボランティアと連携協力し事業を実施しました。	C:未達成
6	市民	生涯を通じて利用いただける図書館を目指します。	図書館入館者数(人)	24,976	25,717	24,342	24,500	20,641	図書館ビジョン評価指標	・「おはなしのじかん」 ・春・秋読書週間事業 ・赤ちゃんタイムの実施	ボランティアや関係機関と連携しPRに努めましたが、空調工事に伴う臨時休館も影響し、未達成でした。	C:未達成
7	業務	図書館システムの円滑な運営により、利便性の向上を図ります。	予約件数(件)	4,886	5,145	5,380	5,400	4,233	図書館ビジョンの図書館像「課題解決型図書館」(団体予約を除く)	・予約等図書館システム機能の利便性PR・普及	空調工事に伴う臨時休館と利便性PRの広報不足が原因と考えます。	C:未達成
8	人材	職員の職務遂行能力(専門的能力・待遇)の向上を図ります。	専門研修への派遣及び内部研修受講職員数(人)	5	9	11	12	10	図書館ビジョンで掲げる「効率的・効果的な運営」	・専門研修等への参加	受講対象研修と勤務体制の都合により、受講できる研修が少なく、達成できませんでした。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>図書館ビジョンや組織目標を基礎に、地域性や独自性等を加味し、設定しました。これまで恒例事業など親子を対象とした事業を中心に実施し、利用者数を維持できました。今年度は講演会開催や地域の学校、ボランティアと連携しながら、より利用者拡大に繋がるような事業を検討していきます。</p>	<p>恒例事業での来館者数は定着していますが、日常の利用拡大には結びつかず、来館者数や貸出冊数が伸び悩んでいます。今年度から赤ちゃんタイムにも取組み、保育園への読み聞かせも定期的に行い、図書館利用を勧めています。地域性や利用者層を念頭に利便性の高い図書館であることを活かした展開も必要と考えます。今後もこれらの事業を継続し、認知度を高め、図書館を利用していない市民に向けて広報や展示等で工夫をこらし、利用拡大につなげます。</p>